



視 察 研 修 報 告 書

平成29年4月28日

坂井市議会

議長 伊 藤 聖 一 殿

会 派 名 公 明 党
報 告 者 永 井 純

1. 日 時

平成29年4月11日（火）～4月14日（金）

2. 視察・研修先

- (1) 国土交通省
- (2) 飯能市役所（埼玉県飯能市大字柳1番地の1）
- (3) 印西市役所（千葉県印西市大森2364-2）
- (4) 農産物直売所「かしわで」、農家レストラン「さんち家」
（千葉県柏市高田100）
- (5) 坂井市アンテナショップ（品川区、戸越銀座）

3. 参加者

永井純一

4. 内容

- (1) 国土交通省への、本市における道路ネットワーク及び福井港の整備促進に対する支援を要請。
- (2) 飯能市での、子どもインフルエンザの接種無償化事業の経緯や助成内容等。
- (3) 印西市での、子育て支援政策の一環とした、18歳以下の医療費無償化事業を本年4月より取り組む事業内容等。

また、市民の健康管理を推進するための、いんざい健康ちょきん運動事業内容等。

- (4) 農産物直売所「かしわで」と農家レストラン「さんち家」は、柏市を中心に千葉県及び近隣の約230名の生産者による新鮮な農産物を提供している。ねぎ・かぶをはじめとした各種野菜や果物・お米・お花はもちろんのこと、ジャム・漬物・味噌・惣菜など種類豊富に取り揃え、午前中には品薄になってしまうほど連日たくさんの人で賑わっている。

また、直売所の他に、農産物を使ったビュッフェが楽しめる農家レストラン（さんち家・・・昨年6月オープン）の併設や、豊かな自然に触れ合いながら苗植えから収穫までを行う農業体験や学校給食への食材提供等、さまざまな形による「地産地消」の取り組み等。

(5) 坂井市アンテナショップの初訪問、及びオープン以来の動向把握。

5. 感想

飯能市

「子どもインフルエンザ予防接種無償化事業」について研修を受けました。飯能市は「将来の消滅可能性都市」として位置づけられ、相当の危機意識をもって、様々な施策に取り組まれているようです。子育て世帯の負担軽減を図り、子育て世帯の定住促進を促すため、市長の強い思いを受け事業を決定したとのことでした。4千万の費用が掛かるということですが、目的のため施策の実現のためには、強いリーダーシップの必要性を感じました。

印西市

「18歳以下の医療費無償化事業について」

「いんざい健康ちょきん運動の推進について」

「18歳以下の医療費無償化事業について」は、現市長の公約でもあり、強い思いが実現したようです。私も坂井市において18歳までの子ども医療費の無料化実現を訴えており、早期実現するため努力したいと思っています。また、市長のリーダーシップを発揮するよう働きかけていきます。

「いんざい健康ちょきん運動の推進について」は身近な所で、元気な高齢者が支え合い、一人ひとりに合った無理のない運動で健康を維持しようとするものです。また、行政主体でなく、住民主体で運営しているのが特徴です。これまでも、様々な事業に取り組んできたようですが定着しなくて苦労されたようです。今回の事業はうまくいっているようで拡げていきたいとのことでした。坂井市においても、行政区の様々な活動グループやまちづくり協議会などを活用し、身近な所で気軽に長続き出来るような健康事業を考える必要がある。

農産物直売所「かしわで」、農家レストラン「さんち家」

直売所は、農家さんが組織した会社で運営を行っています。創業以来、順調に伸びていたのが、残留農薬問題や東日本大震災の影響で苦境に立たされたものの、自助努力で立て直しを図られました。今では、体験農園、学校給食の提供などを通して、地産地消を推進し農家収入増図り、地域活性化に貢献しているようです。農家レストランでは、地元産野菜にこだわり健康志向の豊富なメニューでビッフェ形式で、大変美味しくいただきました。直売所、レストラン共に、大勢の人でにぎわっていました。運営している方々の情熱をかんじました。坂井市においても、地元愛や訪れた方々のことを大事にするおもてなしが出来る、直売所、レストラン運営を期待したいと思います。

坂井市アンテナショップ

運営スタッフの方々が地元愛（坂井市）をもって、接客している姿に感動し

ました。お客様は、坂井市産の米、野菜を求められる方が多いようです。残念ながら、訪問した時は、野菜の種類、量が少なく要望に応えきれていないようでした。安定供給が課題です。坂井市の情報発信の場としても最適と感じました。今後、品川区以外の戸越銀座商店街と同じような東京の商店街で、数か所設置できれば、更なる知名度向上に繋がると思います。

道路ネットワークの整備促進に
対する支援について

要 望 書

国土交通大臣

石 井 啓 一 様

平成29年4月

福 井 県 坂 井 市 議 会

道路ネットワークの整備促進に対する支援について

平素より、本市の行政推進につきまして格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

道路ネットワークの整備は、地域間の交流と連携、産業の振興、観光の活性化及び災害時における物資輸送等の機能を果たす役割として、大きな期待が寄せられています。

つきましては、下記に掲げました各道路整備事業は、福井県嶺北地域全体の都市間を連絡する重要な事業であり、県民、市民が安全で安心して住める住環境の整備、交通安全の確保と渋滞緩和のためにも、早期整備を要望いたします。

記

① 福井港丸岡インター連絡道路の早期整備

福井港丸岡インター連絡道路は、前述した「福井港」及び県下最大の工業団地である「テクノポート福井」と北陸自動車道丸岡インターチェンジとを直結する地域高規格道路であります。本道路の整備により、嶺北地域全体の産業振興の発展が望まれるとともに、災害時には緊急物資輸送の重要な路線となり、本市の東西方向に脆弱な交通ネットワークが強化され、渋滞解消、交通事故の減少が図られることが期待されますので、一日も早い全線開通を要望いたします。

② 福井港丸岡インター連絡道路に連結する福井森田丸岡線の早期整備

一般県道 福井森田丸岡線は、嶺北北部地域における東西方向の幹線道路である地域高規格道路 福井港丸岡インター連絡道路と福井市中心部を接続する南北方向の幹線道路であり、福井港丸岡インター連絡道路と一体となって当地域における物流・交流の活性化が期待されます。

現在、九頭竜川渡河部においては、全国初の新幹線との一体橋「新九頭竜橋（仮称）」として、北陸新幹線の敦賀開業までの完成を目指していますが、アクセス、利便性の向上からも福井港丸岡インター連絡道路や北陸新幹線と一体的な整備を要望いたします。

本市の多様な都市活動を支えるまちづくりのための骨格的な道路ネットワークの形成、安全で快適な暮らしを支えるまちづくりのための安全・安心対策の充実を目的に、下記、市道4路線の早期整備を要望いたします。

③ 市道末政随応寺線

事業年度：平成11年～31年 L=2,150m

本道路は、国道8号と主要地方道福井金津線を結ぶ幹線道路であり、大型商業施設が隣接したことなどによる渋滞が発生しているため、道路拡幅と歩道整備を実施することにより、渋滞解消と通学する児童生徒の安全確保を図る。

④ 市道宮領北部線

事業年度：平成28年～32年 L=650m

国道8号への幹線道路となる本道路を整備することにより、市民生活の利便性、安全性、快適性の向上を図る。

⑤ 市道上安田3号線

事業年度：平成26年～32年 L=974m

本道路は近隣中学校の通学道路であり、また、近隣幼保園の送迎道路であるため、自転車歩行者道を整備することにより、通学生徒及び園児の安全確保を図る。

⑥ 市道沖布目森田線

事業年度：平成27年～36年 L=800m

本道路を整備することにより、福井市へのアクセスを円滑化し、また、近隣小学校及び中学校への通学路として自転車歩行者道の整備することで、通学児童及び生徒の安全確保を図る。

以上

平成29年 4月11日

福井県坂井市議会 議長 伊 藤 聖 一

道路ネットワーク及び福井港の整備促進



福井港の整備促進に対する支援
について

要 望 書

国土交通大臣

石 井 啓 一 様

平成29年4月

福 井 県 坂 井 市 議 会

福井港の整備促進に対する支援について

平素より、本市の行政推進につきまして格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

本県嶺北地域の広域交流拠点である「福井港」は、国が指定した特定地域振興重要港湾であり、国家石油備蓄基地や石油配分のエネルギー基地、ならびにテクノポート福井の拠点港として重要な機能を果たしております。

今後、海外との交流や観光と連携した港湾活用など、地域の産業と生活を支える港湾として、更なる発展を目指すために港湾整備を要望いたします。

記

福井港港湾整備事業の早期整備

九頭竜川からの流下土砂の影響から航路・水深が確保できず、平成24年には貨物船の座礁事故が発生しております。船舶の安全航行や地域の産業を守るため、また、海外との定期便就航の推進、交流や観光と連携した港湾活用を図るなど、更なる発展を目指すため、航路浚渫、防砂堤の移設・延伸工事、港湾改修工事を要望いたします。

以上

平成29年 4月11日

福井県坂井市議会 議長 伊 藤 聖 一

道路ネットワーク及び福井港の整備促進





視 察 研 修 報 告 書

平成 29年 8月 10日

坂井市議会

議 長 伊 藤 聖 一 殿

会 派 名 公 明 党

代 表 者 永 井 純 一

1. 日 時 平成29年6月27日(火)～28日(水)
2. 視察・研修先 兵庫県たつの市(27日)
兵庫県三田市(28日)
3. 参加者 永井純一
4. 内容 高校生議会に向けた高校や生徒および理事者との調整や
当日の運営等についてのヒアリング
5. 感想

主権者教育に向けて、たつの市は議会、議員主導、三田市は市主導の違いはあるものの、高校生議会の開催は意義あるものと思います。

両市とも、目的である、市政や議会に関心を持ってもらい、まちづくりへの参加、地域への愛着や誇りの醸成を図ることについて、相当の準備期間、話し合う時間を確保したことによって、一定の成果が得られているようです。

現時点では、坂井市においても、高校生議会を開催し終えており、高校生、先生方からも評価をいただき、今後も毎年開催の予定です。

坂井市では、市内3高校に議員が出向いて一日議会塾を開催しており、高校生議会と合わせて、有意義なものとなるようにしていかなければならないと思っています。

若者の声が、市政、政治に反映されるよう努力していきます。



6月27日(火) たつの市役所



6月28日(水) 三田市役所